

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6 年 5月 1 日

事業所名 チャレンジキッズどんぐり

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	2	0	人数が多い時や動きに大きく差があるときは2グループに分けて活動する	
	② 職員の配置数は適切であるか	4	0	0	特に支援が必要と思われる子には、個別に1名、又は時間や場面に応じて、職員を増やしている	
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	0	1	3		建物が岩内町から借り受けしているため、設置等は困難。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3	0	1		
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	0	0	改善できるものはすぐに取り組みようにしている。	
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	0	0		ホームページで公表の他、以前より保護者さんから寄せられた質問等に関して、文章等で回答し周知する。 ホームページの内容を充実していく。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	0	2		第三者による外部調査はしていません。法人本部と今後検討していく。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	0	0	年に1人1回以上は研修に参加するように、年計画を立てている。外部研修が主ですが、勤務時間で支障のない様ズーム配信などの研修も活用している。	
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	0	0	特に入所の際には、様式を用いて記録に残し活用している。	本児の状況や変更等の確認のため、毎年確認の方向で検討。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	0	1	使用していません。医療・教育機関で実施した結果を参考にしている。	発達支援につながるアセスメントの使用については知識や技術がなく、研修等について今後検討。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	1	0		
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	1	0		
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	0	0	社会資源をながら増やしながら、活動の内容や職員の配置に配慮しながらプログラムを立てている。	特に長期休暇については、普段あまり経験できないもの、子どもが満足できる内容を体験する。

	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	0	0		
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	0	0		
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	0	1	振り返りは、送迎時間後に行うのは困難なため、申し送りが必要なものの他は、その都度発信し共	タイムテーブルや役割分担の他、子供の様子については全職員で対応できるように共有する。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	0	0		
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	0	0		
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	2	2	0		地域交流の機会の提供については、保護者の意向もあり控えている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	0	0		
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	3	1	0	年度当初は、利用者一覧と送迎に関する協力の依頼を、また、年に一度は学校訪問をして情報交換を行っている。又、緊急時の下校時間の変更についても連絡を頂くようお願いしている。	支援計画について、今後一緒に課題等を協議して作成の理解・協力を頂く。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	1	1		受け入れ態勢なし。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	0	1	当事業所発達支援の持ち上がりについては、全担当が申し送る。	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか				該当者なし。	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受け	3	1	0		
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	1	3		地域交流の機会の提供については、保護者の意向もあり控えている。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3	1	0	コロナ感染症が5類に移行し、講演会が開催される。これまで通り積極的に参加の方向。	子ども部会などでは職員の参加を促し、地域の情報交換等を行い関係性を深めながら視野を広げる。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	0	0		
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	0	2		職員はペアレント・トレーニングの研修の機会があれば積極的に受講しスキルを学ぶ。
	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	0	0	運営規定や利用者負担については入所の際に説明。変更があれば随時文章で周知。支援の内容については、その都度行う。	保護者が来所した時や計画書の説明時など、交流の場を大切にす様心掛ける。

保護者への説明責任等	①	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	1	0		
	②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	1	1	・保護者会等を設けていない	・今後も予定はしていない。
	③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	0	0		・しっかり話を聞いてそのままにしないことを目標にして対応し、記録を残す。
	④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	0	0	どんぐり全体としての通信、放課後等デイの通信を2～3ヶ月に1回の予定で発行。	保護者は普段子どもたちの活動を見ることが少ないため、主に写真などを掲載して様子を伝える。
	⑤	個人情報に十分注意しているか	3	1	0		
	⑥	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	0	0		
	⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	1	2		地域交流の機会の提供については、保護者の意向もあり控えている。
非常時等の対応	⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	2	2	0		・非常災害対応マニュアル、原子力災害対応マニュアルは作成済み。保護者の周知や想定した実施訓練は今後の課題。
	⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	0	0	火災のほか、地震や消化訓練などを計画に沿って毎月1回、行っている。	8月に移転したこともあり、避難所、避難場所へ連絡をして協力を依頼する。
	⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	0	0		
	⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	1	0		研修等を重ね、より体制を整えていく。
	⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	0	1	保護者の確認のみで、医師の指示書はない。	
	⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	0	0	日頃より、報告や話し合いが出来る雰囲気づくりをしている。	事例を全職員で把握し、対策を検討する。事例の傾向から、予防策を検討する。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。